



消費生活相談員の
佐藤です！

東濃西部

消費生活相談のあれこれ

消費生活相談員の
開設です！



NO.17

発行：東濃西部広域行政事務組合

消費者が与える社会への影響

以前は数千円もしたジーンズが、最近では千円もしないものもあるなど価格の幅が広がりました。また、買い物の場所も商店街や百貨店が主流だったものが、大型店やインターネット取引など多様化しています。選択の幅が広がり、安くて便利に買い物ができることは消費者に利益となる面もありますが、大量消費・大量廃棄に伴う資源の無駄や環境問題、商店街の衰退による買い物難民の発生など様々な問題も引き起こしています。安価な商品の背景には、劣悪な労働条件で働く労働者や児童労働によって価格を維持していることがあります。こうした中で、消費者には、自らの消費行動が環境・経済・社会に与える影響を考え、社会にとって望ましい商品を選択することが求められています。

ほんとーに こんな相談ありました



「誰でも簡単に稼げる」「月20万円の収入保証」と表示されている動画などを見て情報商材（稼ぐ方法の情報）を30万円で購入した。冷静に考えると本当に儲かるのか不安になったので解約したい。

アドバイス

将来いくら稼げるかは不確実なことです。あたかも確実に稼ぐことができるような表現を広告に使用することは法律で禁止されています。このような表現を使った広告は絶対に信用してはいけません。

新規・継続 2月の相談件数

店舗販売	II	2
訪問販売	I	1
電話勧誘販売	IIII	4
通信販売		45
多重債務	III	3
その他		0
問い合わせ	I	1

高齢者の消費生活トラブルは家族や近所の「見守り」から発見されるケースが見受けられます。高齢者宅に見かけない人が頻繁に出入りしていたり、未開封の荷物が増えていたら、一度声をかけてみてください。